

## 3年生「柏樹タイム」の取り組み

### I. 平成9年度からの流れ

平成10年度の3年生「柏樹タイム」は、9年度の活動を受けて、基本的な考え方や方法は継承しつつ活動した。

まず、9年度からの継承事項は次のようなものである。

#### 1. 基本的な考え方

- ・結果より過程を重視する。
- ・知識を覚えることより、生きていく上で今後必要となる知識の獲得の仕方（学び方）を学ぶことを重視する。
- ・公立図書館の利用や電話でのインタビュー、学校外での活動も行う。
- ・1年をかけて、1つのテーマに取り組む。

#### 2. 研究テーマ

- ・「金沢に関すること」という大テーマを設ける。

#### 3. 支援体制

- ・指導教官一人当りの担当生徒数がほぼ同じになるように、人数割りをする。

#### 4. 学習の形態

- ・生徒が自分自身でテーマを決めた課題追求学習。
- ・個人研究に限る。
- ・各自がレポート形式で成果をまとめる。
- ・学年発表会を行う。

(ここまでの経緯については、本校研究紀要第41号参照のこと。)

### II. 平成10年度の変更点

9年度の活動の反省点を踏まえて、10年度、新たな方法を取り入れた点もある。それは主として次のような点に関してである。

#### 1. 基本的な考え方

- ①現地学習の機会を増やす。

9年度の生徒の感想の中に、「外出の機会がもう少しあればよかった。」というものがあつた。「金沢」という大テーマを掲げているのであるから、もっとフィールドワークの機会があつてもよいとは考えていたが、時間的な制約や、引率などの問題があり、時間が確保しづらかつた。10年度は、全員が外へ出る日1日を含めて、計3回、外出の日を設定した。全員の外出には、3年生を対象とした金沢市教育委員会主催の観能教室の日を活用した。観能の後約4時間ほど、活動時間があつたのだが、公の機関や工場見学をした生徒は半数以下で、それ以外の生徒は市内の図書館へという状況であつた。フィールドワークという視点で時間を活用する指導が必要であつたように思われる。

## 2. 研究テーマ

### ① テーマをより細分化。

9年度は「金沢の～」という形でのテーマ設定であったが、10年度は研究内容を生徒自身により具体的に意識させるためにさらに細分化し、「金沢の～について～を調べる」という形でテーマを決定させた。(具体的なテーマについては、P28～P31参照のこと。)

## 3. 支援体制

### ① 学年所属の教官だけで対応。

9年度は保健体育科など、他学年所属の教官にも担当してもらっていたが、10年度は3学年所属の教官だけで「柏樹タイム」を担当した。結果的には人数が2人減って7人となり、担当する生徒の数は2～3人ずつ増加することになったが、具体的な活動内容について学年会を中心に検討することができ、動きやすかったといえる。

### ② テーマを決定する前に班分け。

9年度はテーマ決定後にその内容を見ながら班編成を行ったが、10年度はテーマ決定までが活動の中でもかなり重要であると考え、班編成は機械的に全体を7等分する形で行ない、班ごとに担当教官を割り当て、その担当教官がテーマについて班員一人ひとりの相談にのった。イメージマップなど、全員を対象とした支援は何度か行なってきたが、個別に当たってみるとまだまだ決定には程遠い生徒が多く、班ごとのテーマ相談は有意義なものとなった。

### ③ 「柏樹ホール」を活動の拠点に。

9年度は班ごとに普通教室を活動拠点とし、コンピュータールームと図書室を必要に応じて開放するという活動のしかたであったが、資料のコピーのたびに教室が手薄になるなどの問題が生じた。そこで10年度は1学年160名全員を収容できる「柏樹ホール」を活動の拠点とし、教官・生徒全員が一度ホールに入り、必要のある生徒がコンピュータールームや図書室に移動するという形にした。また、主な参考図書はホールに書棚を設置して、常設することにした。複数の教官がホールにいて、班を超えた支援も可能になり、コピーなどで教官がだれもいなくなるなどという問題は解消できた。ただ、1階のホールから4階の図書室やコンピュータールームへ移動する際には、だれかが付いていかねばならず、ホールにコンピュータが常設できればその問題はかなり解消できると思われた。

## 4. 学習の形態

### ① プレゼンテーションの工夫。

各班代表による発表会にむけて、資料の提示方法や発表の内容について事前に担当教官との打合せをし、効果的なプレゼンテーションの方法を工夫した。

## 5. その他

### ① 中間発表会を開催。

1つのテーマについて長期間調べるという活動は、生徒たちにとってはかなり大変なことで、単調な活動はともすれば中だるみしがちである。活動に変化を持たせるという意味も込めて、10年度は6月の研究発表会の日程を視野に入れて、中間発表会を開催した。中間発表会は各班ごとに行い、生徒一人ひとりにコメント用紙を持たせて、一言アドバイスをさせた。発表内容は、仮テーマと、その決定に至るまでの過程の報告であったが、他の生徒からのコメントを参考に、その後の活動を進めて行った生徒もいた。

### Ⅲ. 生徒の活動と支援の実例

3年柏樹タイム 1班

男子 10名 女子 12名

支援者 松原 敏治

#### ◆A子の例

##### 1. A子の研究内容

###### (1) 研究テーマ

民謡 ～民謡とその場所～

###### (2) 研究の動機

金沢にはいろいろな行事があるのでそれらに関係する民謡があるのではないかと考え、調べはじめた。

###### (3) 研究の方法

・電話でのインタビュー ・インターネット ・新聞の記事 ・本

###### (4) 研究内容の概略

・郷土の民謡

1つの県に1つから2つ取り出して、日本地図にまとめた。

・石川県の民謡

歌詞と作られた場所などの説明をまとめた。資料のあるものはそれも入れた。

取り上げた民謡

山中節 山中鉄砲獅子 野々市じょんがら 片山津節

加賀万歳ー北国名物魚尽し 加賀長持唄

能登麦屋節 さかた音頭 二俣弥栄節 (紙すき唄)

鶴来節 船玉節

・民謡愛好会について

・歌詞の変化 (わらべ唄を例に)

自分が小さいときにうたっていたものと本に出ていたものとの違い

###### (5) 感想及び反省

石川県の民謡はけっこうたくさんあったけど、金沢のものはなかなか最後のほうにならないと見つけれなくて大変でした。

民謡とは、人々の生活、その土地の風土、行事があって生まれるものであること、伝統とは、昔からずっと変わらないものではなく、時代の変化とともに変化し続けるものだということがわかりました。

##### 2. 活動の経過とA子の研究へのかかわり方

5月9日 テーマを和菓子から民謡に変えた。

「研究テーマ絞り込み用紙」を書き直した。

図書室には金沢市教育委員会が出した本が数冊あったのでそれを見た。

◇A子は最初、金沢の和菓子について調べようとしていたのだが、特に和菓子について調べたいという強い動機を持っていたわけではなかった。和菓子については多くの生徒がテーマとして取り上げているということもあり、ぜひ調べたいということがあればその方がよいのではないかとアドバイスした。その結果、方言とも関係する民謡を取り上げることになった。

最初は「民謡を守っていくために行われていること」という観点で調べるようになった。

5月29日 コンピュータで検索したが何一つ情報を得られなかった。

振り出しにもどってしまった。

◇活動の中でインターネットを使つての検索を行ったがなかなか情報が得られなかったようだ。

6月4日 中間発表日 同じ班の生徒からのコメント

☆発表を聞いて

資料がないと聞いて、これからどうなっていくのか心配になった。

金沢にも民謡があったことをきいておどろいた。

☆一言アドバイス

インターネットで資料がないのは大変だけど、そういう民謡がある地域などに手紙を書いたりしてがんばってください。

◇中間発表は生徒どうしでコメントを出し合うので視点が広がり有効であったと思われる。

6月25日 市教育委員会 兼六民謡会 文化財保存財団などの電話番号を調べて、電話によるインタビューのお願いの下書きをした。

◇インターネットでは資料を得られなかったので、直接電話でインタビューすることになった。どういう目的で、どういうことを聞きたいのか、相手にわかってもらえるようまず説明をするようアドバイスした。

11月26日 グループ内発表会

◇みんなが興味を持つことを発表の中に含めること、言葉による説明だけでは聞いていてあきってしまうことなどをアドバイスした。

その結果、発表の中に「わらべうた」に関してわかったことを含める、OHPで石川県の地図を見せながら説明するなどの工夫を行っていた。

### 3. 考察及び今後の課題

その後、石川県の民謡についてインターネットで調べることができ、レポートの記述も幅が広いものになった。インターネットについてはどうやって検索するかが最大の問題であるといえる。

最初考えていた、民謡を守るためにどのようなことが行われているかという問いかけについては、実は何もしていないという結論に達していた。

しかし、研究の過程でA子は、インタビューなどを通じて、民謡は先祖から受けつがれてきた文化遺産であること、「伝統」という昔からずーっと変わっていないものだと思っていたが、時代の変化とともに人々の生活と密着している「伝統」は変化し続けていくということを認識していった。

テーマを選んだきっかけは何げないことであったが、本人の努力によって深まりのあるレポートができた。

山中節

おかしん有は 山中道を  
東や木山 西や薬師

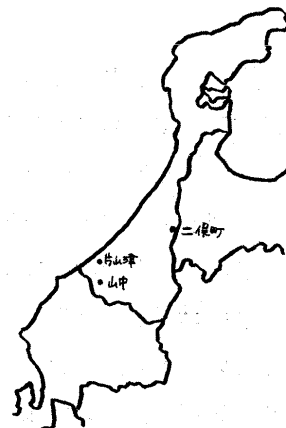
片山津節

おかしん有は 片山津道を  
かわしや 石川で西や薬師

争まわりの

④ 二水はりの お舟箱に  
おむ有が おむ有が  
つめこんで  
やとまごぼうに 二水はりかけて  
しいたげさん おんひょうさん  
まじりたげさん  
ぬのあいた 水ん二んさん  
くれわいのりい

④ 二水はりの お舟箱に  
おむ有が おむ有が  
おとつめて  
まじりたげさん 二水はりかけて  
じんけんさん せんけんぼうさん  
しいたげさん 二水はりさん  
ぬのあいた 水ん二んさん  
おむの道に ぶき



◆B子の例

1. B子の研究内容

(1) 研究テーマ

～障害者に対するボランティア活動（金沢では）～

(2) 研究の動機

新聞に必ず1枚は掲載される、障害者に対するボランティア活動について、金沢ではどんな所でどんな人達が、活動を行っているのかが気になって、調査してみようと思った。また、この研究を機に、自分自身がボランティア活動の重要性を学びたいと思った。

(3) 研究の方法

- ・平和町養護学校への訪問
- ・インターネット検索
- ・石川県福祉人材センターでの資料収集

(4) 研究内容の概略

- ①石川県平和町養護学校における授業内容、学校生活、行事、生徒と先生との関わり等
- ②金沢市内の小、中、高等学校においての、障害者に対するボランティア活動の実情
- ③教職員生涯福祉財団によるライフマップの内容
- ④石川県民ボランティア情報センターによるボランティアガイドの説明
- ⑤金沢ボランティア大学の紹介
- ⑥柏樹タイムを終えての感想及び反省

(5) 活動の記録

- 4月23日 学校の図書室において資料収集
- 5月8日 コンピュータ室において、インターネットでの資料収集
- 5月27日 中間発表用の原稿の製作
- 5月29日 中間発表会（テーマ決めの経過を中心に）
- 7月7日 現地訪問
- 10月8日 資料の整理
- 10月26日 まとめ用紙の製作
- 11月26日 柏樹タイム発表（班単位）

(6) 感想及び反省

この研究を終えて、一番印象に残っているのは、平和町養護学校への訪問である。この訪問を通して、障害を持った生徒のみんなと直接触れ合えたことが、何よりも感動だった。その瞬間には、訪問前に抱いていた偏見なども忘れさり、本当に対等の立場で接することができたと思う。また、障害をもっているがために、同じ年の子でも私なんか比喩ものにならないほど、強くそして前向きに生きているんだな、って感じられたことがうれしい。この出会いをバネに、私ももっとしっかりしなければ、と考えさせられた。本当に今回の研究は、私にとって教わるのがたくさんあったと思う。

## 2. B子の研究への関わり方

### (1) テーマ決め

2年時3学期に行なった“新聞の切り抜き”作業を見守る中で、B子の福祉関係に対する関心の高さを感じ、中でも一番身近なものと思われる“ボランティア”と絡めて研究する方向性を支援した。特に平和町養護学校が歩いて3分の所にあり、運動会等の学校行事で、交流を持っていたことが、一番の動機である。

また、B子はテーマ決めにかかわる中間発表会の発表者であったため、話し合いを進める中で福祉からボランティアそして障害者へと、キーワードを絞り込んでゆく過程に、多くの時間を費やした。

この研究を進める中で、B子自身が障害者に対する心の隔たりや壁に気づき、障害者への働きかけや労りの気持ちが芽生えることが、最大の目的と考えた。

### (2) 資料探し

石川県民ボランティア情報センターの存在や、インターネットにおける石川県のボランティア情報の充実しているホームページをB子に提供することを通して、骨子となる資料収集の能率を支援し、その枝葉の情報部分として、速やかに現地訪問に至れるように援助した。

### (3) 現地訪問

特に平和町養護学校への訪問の際には、質問内容の検討を数回行ない、本当に聞きたいことは何なのかということの、B子自身の自覚を促した。

一方、先方の担当先生に、事前に訪問の目的と質問内容を報告し、B子を待ちうけてもらう体制づくりを行なった。

### (4) まとめ方と発表の仕方

まとめ方については、研究のまとめ用紙を教師サイドで作成し、それにしたがって記入することで、自分の研究の流れを再確認でき、長期間におよんだ自分の研究のまとめが自覚できるような書式を準備した。

また発表の仕方（プレゼンテーション）については、学年単位で数時間の時間をかけて指導し、OHPはもとより実物投影機の導入など、視聴覚機器の充実に努めた。

発表原稿の書式等にも工夫を凝らし、数回のやり取りの中で発表のスタイルが自然に導入されるように配慮した。

## 3. 考察及び今後の課題

B子の感想と反省からもうかがえるように、この研究を進めていくうちに、今まではまったく無縁であった障害者が、B子の心の中で身近な存在になったこと、対等の視野で障害者と接しられたことが、このB子の研究における最大の成果であったと考えられる。また、その感動がさらなる動機となり、研究をより広くより深くしていったB子の努力は、大きく評価できるものであると思う。その証拠に発表の前には、事実を知ってもらい、感動を分かってもらいたい、というB子の積極的な姿勢が反映され、たいへん良い発表になった。

事実を知り感動を得たB子に今後望むことは、その上で自分ができることの発見である。今回の感動を決して忘れることなく、自分はこれから障害者の人達と、どんな風に出会い、どんな風に関わっていくのか、という自分なりの姿勢を見つめ続けていってほしいと強く感じている。

◆C男の例

1. C男の研究内容

(1) 研究テーマ

～金沢の人々の、樹々を守る今昔の方法～

(2) 研究の動機

幼い頃より、密林や砂漠での動物や人々の暮らしなど、自然を題材にした本やテレビ番組が好きであった。そこで当初は、金沢では、現在自然はどのような状態にあるのかを調べてみたいと考えていた。しかし、調べていくうちに、金沢には藩政時代に「七木の制」という樹木を守る制度があったことや、現在でも兼六園をはじめとして、「雪つり」により樹木を守っていることがわかり、興味を覚えた。

そこで、金沢の人々がどのようにして樹木を守ってきたのか、また今守っているのかについて調べていくことにした。

(3) 研究の方法

①学校図書室や市、県の図書館の本や各種パンフレットで資料を集める。

②インターネットで資料を集める。

③新聞の記事から現在の樹木保存についての情報を集める。

④金沢市役所 花と緑の課 を訪問し、疑問点などを教えていただく。

⑤石川県 兼六園管理事務所 を訪問し、疑問点などを教えていただく。

①～③をある程度進めてうえで、疑問点を明確にし、質問内容をしっかりと考えたうえで④、⑤の活動を行った。

(4) 研究内容の概略

- ・保存樹、保存樹林の指定について、市の条例の意義や内容を確認する。
- ・風致地区について、どのような地区なのか確かめ、樹木の取り扱いについて調べる。
- ・雪つりについて、目的や費用、作業のようす、問題点などを聞き取り調べる。
- ・グリーンバンク制度について、制度の概要をまとめる。
- ・七木の制（昔、金沢で行われていた樹木保存の方法）について概要をまとめる。
- ・そのほか、金沢市が樹木を守るために行っていることを調べまとめる。

(5) 活動の記録

4月 金沢の自然について資料を収集する。

5月 金沢の自然のどんな点について調べたいのか研究テーマを絞る。資料収集。

6月 中間発表 テーマ決定までの流れ、今後の活動予定を中心に。

訪問活動のため手紙を書いたり、話すことをまとめ電話をした。市役所訪問。

7月 兼六園管理事務所訪問。お礼状作成。

9月 資料整理。レポートの形式決定。

10月 レポート作成。研究のまとめ記入。

11月 柏樹タイム発表（班ごと、一人5分程度、質疑応答、他の人からの評価）

## (6) 感想及び反省

最初は、いい資料がほとんど見つからず、本当に文化祭にレポートが出せるのか心配だった。しかし緑と花の課、兼六園管理事務所への訪問によって、ここまでまとめることができほんとうによかったと思う。この研究を通して僕はたくさんのことを学んだ。金沢市が樹木を守るために何をしているかはもちろん、市役所緑と花の課を訪問することによって、市役所の方々の仕事の様子や温かいお人柄などがわかり、よい社会勉強になった。

また、このレポートはいろいろな人のおかげでまとめることができた。担当の大場先生にはいろいろなアドバイスをもらい、似たテーマの～君にはよい相談相手になってもらった。また訪問先のみなさんにはよい資料をいただいたり、お話をさせていただいてとても感謝している。ただ、まとめを書き終えるのが遅くなったのが反省点である。

## 2. C男の研究への関わり方

### (1) テーマ決め

研究の動機でも書いたように、もともと自然に対する興味がC男にはあった。しかし、当初のテーマが「金沢の自然」と漠然としており、何をどう調べていけばよいのかが全く掴めていなかった。そこで、なぜ「自然」なのか、自分の関心は「自然」のどんな部分に特にあるのかをはっきりとさせていく活動を行った。その際「金沢の自然」という大きすぎるテーマから、「金沢の自然の～について」というようにもっと小さなテーマに絞ってゆくようアドバイスを行った。

### (2) 資料探し

本やインターネットでの情報が少なく苦労しているようであった。そこで司書の先生に相談に行くようアドバイスをした。すると、県や市、団体などからくるパンフレットなどを保存してくださっていることがわかり、そこから調査活動の指針となる情報を入手できた。また、訪問させていただいたところで「こんな資料を探しているんだ」ということをきちんと伝えるようアドバイスをした。

### (3) 現地訪問

訪問前には、どのようなことを質問したいのかをじっくりとまとめ、手紙の書き方や電話のかけ方などしっかりと確認して、相手の方に失礼のないようにすることを話した。また訪問のお願いを事前に担当者に行った。訪問先へのお礼状の書き方などもアドバイスした。

### (4) まとめと発表

レポートを見る人、発表を聞く人の立場になり、わかりやすいものにしようと、グラフ、絵、写真などをレポート中にも取り入れ、さまざまな機器を利用していくよう助言した。

## 3. 考察及び今後の課題

C男は自然に高い関心を持っており、「金沢の自然」という課題テーマの決定は早かった。しかし、それでは具体的に「何をどのように」調べていくかが見えず、最終的なテーマの決定までに担当教師と何度も話し合い、「金沢の自然」のなかの何を調べていきたいのかを自問自答し、現地訪問を終えてやっと最終的なテーマに行き着いた。

2年時には、各人に興味や関心を意識させるための活動を行ったが、自分の興味のあることは何なのか見つけ、突き詰めていく活動をさらに充実させていくことが必要であろう。



◆D男の例

1. D男の研究内容

(1) 研究テーマ

～金沢での地震への知識～

(2) 研究の動機

新聞のスクラップをしていくうちに、最近地震が多くなってきていると感じた。そこでいざ金沢で大地震が起きたとき慌てなくてもよいように、地震について調べてその対処法を知り、あわせて金沢の地形などについても調べることにした。

(3) 研究の方法

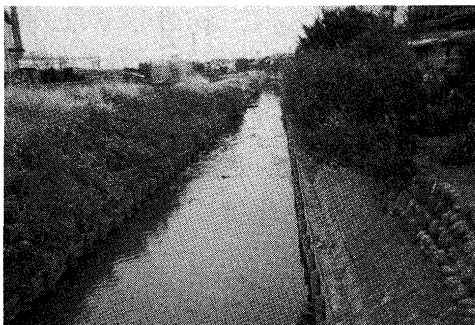
- ・学校や公立図書館での文献調査
- ・インターネット検索
- ・地震への備えのために、自分の家のまわりと、これからの町作りを考えるため県庁の移転先の様子を観察した。

(4) 研究内容の概略

- ①地震のメカニズム
- ②地震に対しての金沢の地形の長所
- ③自分の家のまわりの用水
- ④県庁移転先のまわりの用水
- ⑤地震に対しての金沢の短所
- ⑥地震の予備知識
- ⑦地震への備え
- ⑧大地震がおきたときの心得
- ⑨研究を終えての感想

(5) 活動の記録

- 5月2日 テーマを急遽「金沢での地震への知識」に変更。資料収集にかかる。  
↳ 新聞の切り抜き、学校の図書館の文献、インターネットなどにより、地震
- 6月18日 そのものや地震に対しての金沢について調査を進めた。
- 6月25日 玉川図書館（金沢市立）での調査準備。
- 7月7日 玉川図書館での調査
- 7月9日 資料整理と1学期の反省。



自宅近くの用水



県庁移転先

夏休み中 現地（自宅周辺と県庁移転先）調査。

9月10日 学校図書館で文献調査。

9月17日～ 作品としてのまとめ作業。

11月5日 文化祭に作品出品。

11月26日 柏樹タイム発表（班単位）

#### (6) 感想および反省

地震はいつおこるか分からない。自分の町、あるいは市の地形を理解しておくのは大切なことだ。地震のためだけではなくても、非常用の荷物の準備は大切だ。

この柏樹タイムで得た知識は、不幸にも地震が起きてしまったときには必ず役に立つと思うし、県庁移転先で見た自然破壊の様子から自然というものへの思いやり、さらには自然を対象とした研究や仕事への憧れ・尊敬など、この研究から得たものは計り知れない。

### 2. D男の研究への関わり方

#### (1) テーマ決め

D男は植物に興味があり、金沢との関連を考えるようアドバイスしたところ、金沢特有の植物の調査と、金沢に生えている植物の月毎の変化を調べたいと申し出てきたので了承した。しかし学校の図書館やインターネットでは思うような資料は手に入らなかった。かと言って本校のように市街地から離れている学校では、生徒指導の見地などからいつでも公立図書館などへ行かせるわけにもいかず、研究はそこでストップした。しかし自然科学が好きなD男は、つぎに地震について頭を切り替えてくれて、テーマは決まった。

#### (2) 資料探し

学校の図書館やインターネットでの検索を支援した。

#### (3) 現地調査

まずは実際に地震が起きてしまったときの対応を考えるため自宅のまわりの調査と、将来の金沢の防災計画を考えるため県庁移転先と移転跡地を調査するよう支援した。

#### (4) まとめと発表の仕方

発表の仕方（プレゼンテーション）については、前年度の反省からじっくりと時間をかけ、発表用原稿の用意はもとより、視覚的にも訴えられるようOHPなどの視聴覚機器を使用するよう支援した。

### 3. 考察および今後の課題

前年度（17名）より多い生徒（23名）を支援する立場となって、2時間続きの柏樹タイムの時間と言えども、ひとりひとりの生徒にかける時間はわずかである。そのような中で、生徒たちは精一杯考えを巡らせた。新聞の切り抜きから始まったこの学習の流れの中で、彼等は全く自分の頭だけで考え、自分の手足で行動し、考えをまとめていくというプロセスを経験した。なかでもD男が県庁の移転に着目し、移転先と移転跡地の両方で将来の防災計画を思い描いたことは、彼にとって、かけがえのない財産となったであろう。

今後の課題としては、教員配置、持ち時間数などの配慮のもと、教師・生徒ともにゆとりある学習を進める環境整備が必要である。そのうえで教師側も学習を進めるとともに、民間とのネットワーク作りなど支援態勢を整えることが重要と考える。

◆E子の例

1. E子の研究内容

(1) 研究テーマ

金沢の景観 ～こまちなみの保存について～

(2) 研究の動機

建物のデザインなどの以前から関心を持っていたことと、ここ金沢には新しい近代的な建物と、古い街並みの両方が共存しているので、「街並み」にしようと思った。今回はその中でも特に古い街並みを歩いてみたくてこのテーマにした。

(3) 研究の方法

- ・図書館で資料を探す。
- ・市役所を訪問し、直接話を聞いたり、パンフレットや資料をもらったりする。
- ・インターネットで、関連するホームページを検索する。
- ・現地へ行き、写真を撮る。

(4) 研究内容の概略

①こまちなみの保存について

- ・こまちなみとは、古くて小さな歴史的雰囲気を残しているまちなみのこと。
- ・そのこまちなみを守り、育てていこうという取り組みがこまちなみの保存。
- ・こまちなみ保存条例 H6. 4制定 全部で20条
- ・条例に基づいた保存地区を定める。

H10. 6現在 旧新町・旧観音町・大野町・旧御歩町・水溜町・天神町・里見町 の7区域

- ・各保存区域には、特徴にあわせた保存基準を定める。

(例) 建物の位置・高さの指定、外壁の色彩、広告物の設置、駐車場の見え方の配慮など。

- ・建物を改築・新築等する時は、市へ届け出を行わなくてはならない。
- ・改築等をする時に、市から助成を受けられる。

(例) 格子戸修復 90% 保存団体育成 年間1000万円

- ・保存区域と共に保存建物を指定。

H. 10. 6までのところ20件 大野町の宝生寿司 里見町の山上家等

- ・問題点

2Fまでしか建てられず、3Fにできない。

駐車場の確保が難しい。(家を後ろにさげられない。)

道が狭いので、車での交通が大変。

いろいろとお金がかかる。

## ②アンケート

- ・こまちなみを知っていますか。 YES 46% NO 54%
- ・こまちなみの保存を何で知りましたか。1位 新聞 2位 広報 3位 パンフレット
- ・こまちなみを訪れたことはありますか。YES 78% NO 22%
- ・どこの保存区域を知っていますか。 1位 尾張町 2位 里見町・天神町
- ・この取り組みに対しての意見。 (省略)

## ③他の都市での取り組み

- ・萩市 S47 歴史的景観条例 S51 伝統的建造物保存地区条例
- ・小樽市 H4 景観条例 制定

## (5) 活動の記録

- 5月10日(月) 放課後, 市役所の街並み対策課を訪問し, 資料収集。
- 5月28日(木) こまちなみにするか都市美文化賞にするか迷ったが, こまちなみにする。
- 6月4日(木) 班別中間発表会。みんなからのコメントをもらう。
- 6月25日(木) 市役所へ電話。訪問の連絡。
- 7月7日(火) 市役所訪問。こまちなみに行き, 写真撮影。
- 7月9日(木) 1学期のまとめと礼状書き。

## 夏休み

- 9月5日(土) アンケートをとることにする。
- 9月19日(土) アンケートの集計。
- 10月3日(土) まとめ開始。

## (6) 感想及び反省

初めは何をしていけばよいかよくわからず, なかなか進みませんでした。

市役所へ行って, 「行政ってこんなに親切なんだ。」ということを知ったし, 敬語の使い方, インターネットの利用など, いろいろなことを学べてよかった。

後悔していることは, すべての保存地区に足が運ばなかったことです。そのうちに行ってページを付け足したいです。

## 2. E子の研究への関わり方。

彼女には金沢市役所の「まちなみ対策課」という課でいろいろと話が聞けるであろうというアドバイスをした。柏樹タイムでの現地訪問の時間の前に, 自分で市役所を訪問し, 話を聞くことのできる担当者を見つけていた。そこでの話がテーマ選びの決め手にもなったようである。

研究の過程において, 内容に関するアドバイスはほとんど必要なかった。その後の現地訪問の機会を含め, 市役所の担当の方に連絡をとりながら, 大変スムーズに調査活動ができていた。

2学期に入り, アンケートをとることを助言した。これを最初に行なって, そこから問題点を探っていくという研究方法もあったであろうが, E子の場合, 自身がまずこまちなみについて理解するというところから入らざるを得なかったため, とって付けたようなアンケートになってしまった。

## 3. 考察及び今後の課題

結果よりも過程を重視するという点から見れば, E子の研究は満足できるものである。しかし, こまちなみについて調べただけという内容にはやや物足りなさを感じる。

この班でも, 資料のまる写しに近いレポートもなかったわけではない。それだけで済ますことのできない, 広がりや深まりのある研究に持っていく支援のあり方を工夫する必要がある。

## ◆F子の例

## 1. F子の研究内容

## (1) 研究テーマ

金沢の偉人について ～高峰 讓吉～

## (2) 研究の動機

初めは「金沢の伝統行事について」または、「金沢の偉人について」のどちらかを研究テーマにしよ  
うと思い図書館へ行って見たところ、偉人の方が調べていくうえでおもしろいかもしれないと思い大  
テーマを「金沢の偉人について」とした。しかし、この段階ではまだ何人もの偉人を調べようと思っ  
ていたが、途中から深い研究ができるか分からなかったので、偉人のうちの1人の高峰讓吉に関する  
事だけを調べることにした。

## (3) 研究の方法

①図書館の本で調べる。

②偉人に関連する場所を訪問する。

- ・その土地の歴史を調べる。
- ・偉人の作ったものを再現してみる。

## (4) 研究内容の概略

①高峰讓吉の略年譜を作る。

②高峰讓吉の人生についての詳細を何冊かの本を読んで自分なりにまとめ理解する。

③関連する場所を訪問する。

- ・住居跡、胸像設置場、ふるさと偉人館など

④タカジアスターゼとアドレナリン分子模型を作る。

⑤コウジカビについて

⑥カビについて

⑦まとめ

## (5) 活動の記録

4月17日 オリエンテーション・班編成

4月23日 大テーマを「金沢の偉人」として、その人物の育った環境と研究に携わった人（協力  
者）を調べる事とし、自分の知っている偉人や「金沢偉人伝」などから、偉人に関す  
る資料用の本を探す。

4月30日 高峰讓吉と小野太三郎について調べる。

5月2日 1つの調査内容の項目を細分化し、項目を考え直す。  
高峰讓吉の略年譜を作り、どの様な事を行ったかをまとめる。

5月8日 高峰讓吉の偉業の前後について調べる。

5月14日 高峰讓吉以外の偉人について科学に関わった人を調べる。  
中間発表用原稿資料作り

5月21・26・29・4日 中間発表会（大テーマ決定までの経過を中心に）

6月11日 高峰讓吉だけに絞り込み、まとめ始める。

- 6月18日 現地訪問の訪問場所などの計画を練る。
- 6月25日 現地訪問（金沢市立ふるさと偉人館、出羽町広坂公園）
- 7月7日 現地訪問（大手町旧邸跡と武蔵町住居跡）
- 7月9日 旧邸と住居跡の町について調べる。夏休み中の計画を立てる。
- 9月5日 まとめた資料を、どの順序でどういうまとめ方にするかを、書き出してみる。
- 9月10日 スクラップブックによる研究のまとめ作業
- 10月26日 研究のまとめ作業
- 11月26・27・30日 班別研究発表会
- 12月11日 学年研究発表会

#### (6) 感想及び反省

研究を始めた段階では、本だけで調べるには限りがあるし、訪問しても、本に書いてあるような事だけだったらどうしようと不安でした。実際に訪問してみたら、次に何をしようか、何を調べようかという新しい案を思いつくことができました。偉人を調べているうちに私はなぜか科学の方にまでいってしまいました。これは最初には思っても見なかった展開でした。

### 2. F子の研究への関わり方。

#### (1) テーマ決め

F子は、2年時に課題設定の準備活動で行った「新聞のスクラップ」では、成巽閣の雛人形展、大友楼の七草行事などの伝統行事を取り上げていた。そのため、初めは、大テーマをほぼ「金沢の伝統行事」にしようと思っていた。資料を探すために、市立図書館へ行き、ついでに他にもテーマになりそうな物はないかと思い、本を見ていたら興味のある本にいくつか出会った。「金沢の伝統行事」「高峰讓吉とその妻」の2冊であった。この2冊を読んで、伝統行事は紹介するだけで研究にまで至らないと判断し、大テーマを「金沢の偉人について」研究内容を「育った環境と共同研究者」とし、これらを調べ始めた。

しかし、中間発表会の場を設けることで、F子は、他の生徒の発表からもう少し自分の研究を客観的に見つめ直そうと思った。また、この時点で、F子は調査項目が多数有るため、該当する人物がまだ多数残っていた。そこで、1番調査が進んでおり資料も多いと思われる人物に絞り込むようにと支援してみた。

その結果、大テーマが「金沢の偉人について」、研究内容が「高峰讓吉」となった。

#### (2) 資料探し・現地訪問

市内の生徒ではないので目的地までの土地勘がないため公共施設へは順調に行けるが、そうでない所は住宅地図などによる支援が必要だった。また、タカジアスターゼを作るときに材料探しでは、夏休み中の事だったため、5月に配布した「電話でのインタビューの仕方」「手紙での問い合わせ・依頼のしかた」などを利用して、手に入れた。

### 3. 考察及び今後の課題

平成9年度と違い今回は、課題設定に至るまでの時間を充分にとった。そのためF子は課題を絞り込めたとと思われる。研究の一部ではあるが、実際に展示パネルを参考に夏休みを利用して、自ら材料を取り寄せ、試行錯誤しながらタカジアスターゼを作りだした事も、成就感の大きな一部となっている。「柏樹タイム」のねらいとする、教科の枠にとらわれずに、学習に対する大きな喜びが味わえたと思われる。

◆G男の例

1. G男の研究内容

- (1) 研究テーマ…… 金沢の道路 ～金沢の道路の移り変わり～
- (2) 研究の動機…… 僕の家の前に大きな道路を造る計画があり、そのパンフレットを見ていたら、とてもおもしろくもっと調べたいと思ったから。また、以前テレビコマーシャルで「金沢の道には、曲がり角がたんとあるがや」というのがありました。なぜ金沢には曲がり角が多いのか不思議に思っていました。
- (3) 研究の方法……
  - ・新聞などの道路に関するものを切り抜く。
  - ・学校、市立図書館で調べる。
  - ・金沢市役所都市計画課を訪問する。

(4) 研究内容の概略

①環状線について

環状線には、内環状線、中環状線、外環状線の3つがあります。

- ・外環状線とは金沢市の一番外側を走っている道路です。特徴は4車線で車が60kmで走ってもカーブができるように設計されています。

実際に調査した地点—浅野川・緑道1号線（ジャスコ杜の里前）、鈴見・新庄線（長坂台）、小立野・鈴見線（涌波）

現在までに28.8%施工済

- ・中環状線とは市街地内部を半径3kmでループし、東西南北の放射幹線と連携して、外環状線から流入する交通と都市内移動の交通を目的地まで効率よく配分します。

実際に調査した地点—森本・野々市線（バイパスとの交差点）千木・神谷内線

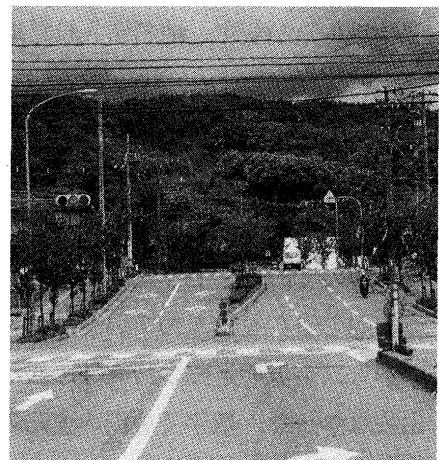
現在までに88.9%施工済



浅野川・緑道1号線  
(田上町)



鈴見・新庄線（長坂台）



千木・神谷内線（神谷内）

- ・内環状線とは、都市部を取り囲むように半径1.5kmでループし、放射幹線により導かれた交通と都市部を移動する交通を的確に配分し、不用な通過交通を排除する役目を担う。中環状線とともに

に市街地道路の骨格の中心となる。

実地に調査した地点—疋田・上荒屋線（大豆田グラウンド付近）

現在までに86.5%施工済

## ②現在と昔の道の違い

- ・昔は舗装されていなかった。雨が降るとぬかるむので、砂利をひいてあった。
- ・昭和初期くらいまでは歩道がなかった。
- ・道幅が大きく違う。昔は人が通ればそれで良かった。市街電車を通すため道幅が広げられた。車の増加が予想以上で、まだまだ拡張工事が必要だそうだ。
- ・金沢は空襲を受けていないので、昔ながらの城下町の道が残っていて、曲がり角が多く、家も建てこんでいるため、工事には費用がかかる。
- ・橋の変化もすごい。木→石→鉄筋コンクリートへと変化した。

- (5) 感想及び反省…最初は何から始めればいいのか分からなかったのですが、市役所へ行って話を聞き、その時にやっと何をすればいいか分かってきました。自分でもっと早く気付けばよかったと思います。逆に言えば、市役所に行ったおかげでこの研究が続いたのだと思います。

## 2. G男の研究への関わり方

- ・テーマを決めた後、その具体的な研究内容を決めかねる生徒が多い中、この生徒は当初から自分のやりたい内容がはっきりしていた。地元紙に時折掲載される道路事情、計画に関する記事のスクラップもできていた。この点ではあまり手数のかからない生徒であった。
- ・新聞の切り抜きと、それに関する資料を図書館等で調べることで研究がまとまるものと考えていたが、新聞の内容以上の資料を図書館では入手できず、一時は昔の金沢の道の様子から町並みの変化に研究が移ろうとしていた。そこで金沢市役所、石川県庁の土木課や都市計画課を訪問し、資料を入手するようアドバイスした。本人も感想の欄に述べているように、この都市計画課訪問が、研究継続の大きな推進剤になったようである。
- ・1人10分程度の班発表を行なったが、生徒たちは意外に金沢の地名に暗く、～線、〇〇付近と言っても分からず、地名を入れた地図をOHPで示すようにアドバイスした。

## 3. 考察及び今後の課題

都市計画課で入手した資料はあまりにも完璧で、G男が求めている現在・未来の金沢の道路について求めている内容が総て網羅されていた。たった1か所訪問するだけで研究の主たる目的を達成するのも考えものである。もっとも、この生徒は訪問するまでに自分の求めるものが何であるのか、またどういう方向で研究をまとめていくかの青写真が出来上がっていたからであろう。

本人は金沢の道路の特殊性の面から、同規模の市との比較を考えていたようだが、時間がたりなくて出来なかった。数字で金沢の道路の特殊性が示されることを支援者自身も期待していたので、やや残念であった。

こうした研究は1つの結論を得たとき、その結論に対して次の疑問が湧いて来るような姿勢が求められるが、時間に制限がある場合にはどこかでストップしなければならない。将来金沢の道についての研究をする生徒がいたら、ぜひ比較検証してみることをアドバイスしたいと思う。



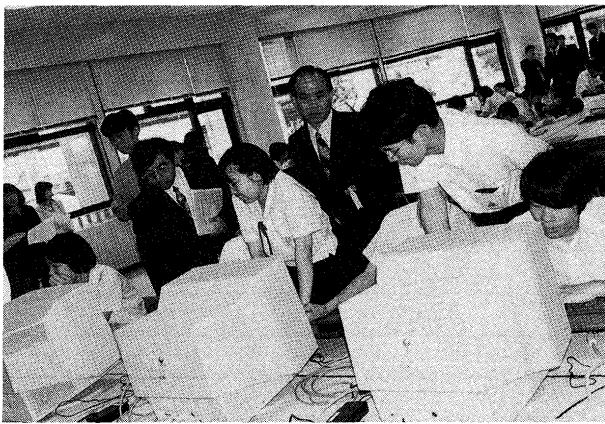
#### IV. 平成10年度 3年柏樹タイム 活動の記録

★4月17日(金) 5・6限	第1回柏樹タイム ・オリエンテーションおよび仮テーマ相談(班別)
★4月23日(木) 5・6限	・資料保存用ファイル配布。 ・仮テーマ相談。図書室で資料探し。 ・仮テーマ用紙提出。
★4月30日(木) 5・6限	45分授業 ・生徒用「活動の記録」用紙配布 ・仮テーマ一覧から、テーマ選択状況を知らせる。
★5月2日(土) 1・2限	・手紙・電話のマニュアル用紙配布。インターネット調査計画用紙配布。 ・図書室・柏樹ホールで活動。 ・休日中の現地での資料集めを促す。
★5月8日(金) 1～4限, 5・6限	・1～4限はクラスごとにコンピュータールームでインターネットによる資料検索。 ・5・6限は図書室・コンピュータールーム・柏樹ホールで活動。 ・5限, 2・3組, 6限, 1・4組。約半数が使用。
★5月14日(木) 5・6限	40分授業 ・5限前半 発表のねらいと手順の話。 ・その後, 2・3組, 1・4組でインターネット検索と, 図書室で資料さがし。 ・2・6班は別行動。 ・書棚2購入, 柏樹ホールで組立て
★5月19日(火) 放課後	・2・6班の3名インターネット使用。
★5月20日(水) 放課後	・関連図書を4階図書室から柏樹ホールへ降ろす。 ・コンピュータールーム準備室のプリンターも。
★5月21日(木) 5・6限	・2・6班は別行動。 ・前半はテーマ用紙内容チェック。 ・後半は許可が出たものはインターネット検索と図書室で資料さがし。 ・テーマ用紙提出。活動の記録2枚目配布。
★5月26日(火) ★5月27日(水)	・柏樹ホールコンピュータ8台セット。 ・ ”
★5月27日(水) 5限	・2・6班は発表教室で。その他の班はホールでまとめ用紙を書く。
★5月28日(木) 3・4限	・2・6班は発表準備。 ・コンピュータールーム1年使用のため, ホールと図書室で活動。
★5月29日(金) 研究発表会	・2・6班は発表, 他の班はホール・図書室で活動。
★6月4日(木) 5・6限	・班ごとに中間発表会。普通教室・理科室・美術室・技術室。 ・終了時, 現地訪問希望調査用紙配布。火曜日提出にする。

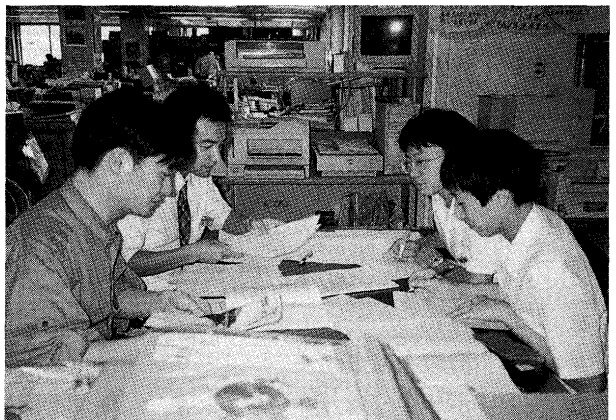
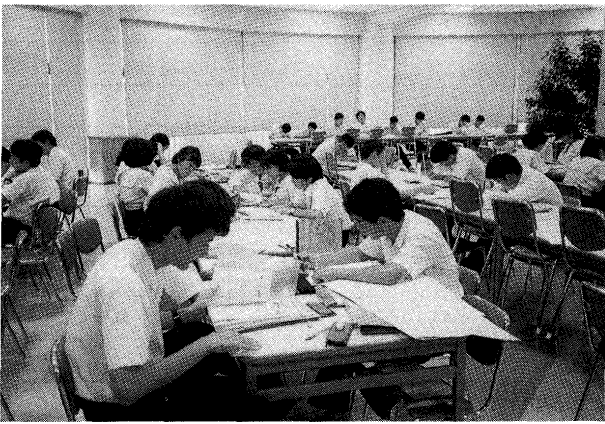
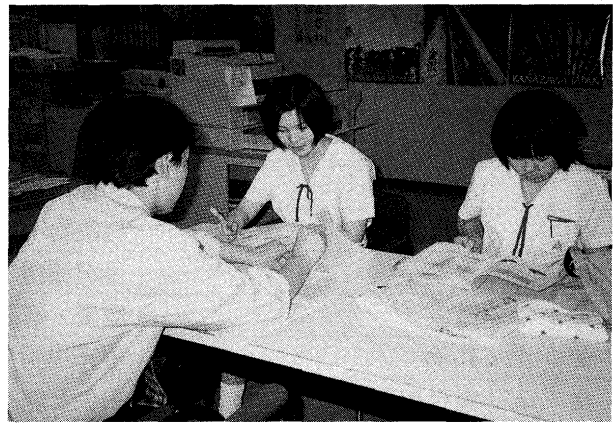
★6月11日(木) 5・6限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・25日の外出は、公の機関で土・日に行けないところと宣言。</li> <li>・該当者に、質問内容・電話連絡内容記入用紙配布。火曜までに提出。</li> <li>・その他の生徒には、7月7日の校外での活動予定記録用紙配布。</li> <li>・あとは通常の活動。</li> </ul>
★6月18日(木) 5・6限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月7日の活動予定表記入提出。</li> <li>・通常の活動。</li> </ul>
★6月25日(木) 5・6限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・13名外出。(市役所・ふるさと偉人館) 中村教官・大場教官引率。</li> <li>・活動は図書室・ホールのみ。</li> <li>・7月7日訪問者は、訪問先へ電話連絡。(事務室・公衆電話・会議室)</li> <li>・市立泉野図書館が休館日であることを報告。希望者を県立へ振り替え。</li> </ul>
★7月6日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体終礼で現地学習の諸注意。</li> </ul>
★7月7日(火) 観能教室の日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観能の後、中央公園で昼食。</li> <li>・個別に活動。中村教官－市役所、端名教官－県立図書、平松教官－城内</li> <li>・大場教官－金大、西住教官－玉川、園下教官－コンビニ、松原教官－菓子工場</li> <li>・学校集合で、全体終礼。・15名現地解散。</li> </ul>
★7月9日(木) 5・6限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期のまとめと、今後の活動予定の記入。</li> <li>・訪問先への礼状書き。</li> <li>・柏樹ホールのみで活動。</li> </ul>
二学期	
★9月5日(土) 1・2限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの活動状況調査・この後の外出希望も調査。</li> <li>・通常の活動。</li> </ul>
★9月10日(木) 5・6限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出希望用紙配布(希望者のみ)月曜日提出を提示。</li> <li>・まとめ方について説明。(資料とレポートは別など)</li> <li>・通常の活動。</li> </ul>
★9月19日(土) 1・2限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の活動。</li> </ul>
★9月24日(木) 5・6限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の活動。</li> <li>・外出者2名(金沢医科大学)－西住教官引率・(金沢市役所)－引率者なし。</li> </ul>
★10月3日(土) 1・2限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の活動。</li> </ul>
★10月8日(木) 5・6限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の活動。</li> </ul>
後期時間割	
★10月19日(月) 6限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室でまとめ活動。</li> </ul>
★10月26日(月) 6限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室でまとめ活動。</li> </ul>

★10月31日（土） 1・2限	・文化祭準備と並行して、教室でまとめ活動。レポート提出。
★11月9日（土） 1・2限	・レポートの内容をB4一枚にまとめる。用紙は前年度のものを参考に作成。
★11月26日（木）	・研究内容班別発表会
★11月27日（金）	〃
★11月30日（月）	〃
★12月11日（金）	・班代表による学年発表会（研究授業を兼ねる）

柏樹ホールでの活動



訪問先での調査



## V. 平成10年度 3年生柏樹タイム テーマ一覧

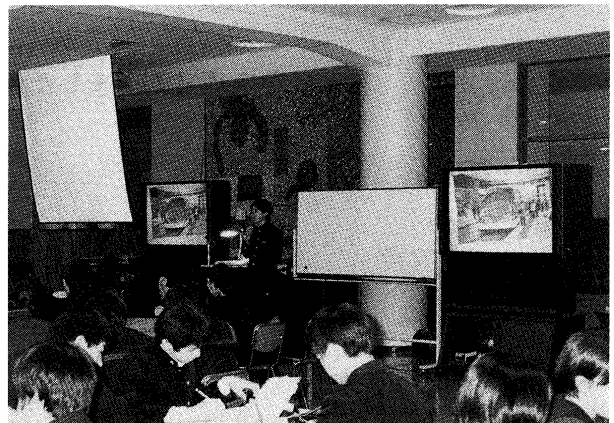
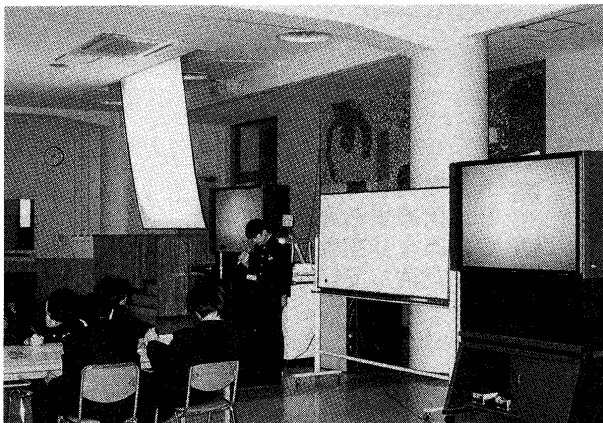
班		金沢の～について	～をしらべる
男	1	特別な教育機関	一つ一つの企画の中で行っていること
男	1	和菓子	金沢の和菓子のつながり
男	1	海川に住んでいる生物	金沢にしかいない魚の捕まえ方, 料理方など
男	1	金箔	作り方・歴史など
男	1	和菓子	和菓子職人
男	1	伝統工芸	金沢で発達してきた理由と特色
男	1	サッカーグラウンド	サッカーグラウンド
男	1	コンビニ	コンビニの一日の動き
男	1	音楽	伝統楽器・楽器店・金沢出身のアーティスト
男	1	工芸	発達してきた理由
女	1	方言	金沢弁と共通語の感じ方の違い
女	1	屋根	他の地域との比較
女	1	事件	ここ数年の交通事故の件数について
女	1	民謡	守っていくためにやっていること
女	1	昔話	どんな話があるのか
女	1	浄土真宗	影響と事件
女	1	建築物	建築物・建築家・学校・寺社
女	1	漆器	金沢漆器
女	1	庭園	歴史・構造
女	1	建物	観光場所
女	1	室生犀星	人生と庭
男	2	道路事情	渋滞の実態とその対策方法
男	2	街並み	現在も残っている昔の街並み
男	2	環境破壊	人への影響と人の対策
男	2	伝統工芸	作り方や職人
男	2	偉人	黒川良安の生涯
男	2	スポーツ	バドミントン
男	2	能楽	能楽が盛んな理由
男	2	街並み	古い街並みの形成
男	2	自然	川に住む生物と汚染状況
男	2	偉人	木村栄の生涯と功績
女	2	ボランティア	障害者の人たちへの活動
女	2	名所	観光地の歴史やゆかりの人々
女	2	テレビ局	地域の人々とのつながり
女	2	特産品	特産品が抱える問題
女	2	都市計画	具体的な項目に沿った施設や建物
女	2	伝統工芸	歴史と種類
男	2	歴史	城下町として発展した理由
男	2	偉人	高峰讓吉の生涯
女	2	和菓子	季節に応じた工夫や作り方
女	2	建物	跡地の利用方法
女	2	環境と生物	カラスとゴミと白ありの関係
女	2	ボランティア	種類と活動内容

女	2	和菓子	作り方と原料
男	3	犯罪	犯罪に対する法と対策
男	3	樹木	人々の樹木を守る今昔の方法
男	3	車問題	現状と解決策
男	3	ビールと日本酒	種類・作り方・歴史・味
男	3	伝統工芸	加賀甲冑
男	3	北前船の歴史	北前船で起こった出来事やその歴史
男	3	ダイオキシン	現状と解決法
男	3	環境問題	ダイオキシンの毒性や性質, 対策
男	3	スポーツ	全国での強さや, 石川県出身のスポーツ選手
男	3	交通	歩行者も自転車も車にもよい交通
男	3	和菓子	有名な和菓子の材料・作り方
男	3	能楽・狂言について	能楽・狂言の歴史
男	3	自然	樹木の特徴や問題
女	3	ラジオ局	歴史と地域の人々とのつながり
女	3	TV, ラジオ	T V, ラジオの番組が製作されるまで
女	3	学校の中の問題	先生と生徒, 生徒と生徒の関係
女	3	郷土料理	特色ある素材・それから生まれた料理
女	3	和菓子	種類, 作り方の工夫について
女	3	観光	いろいろなD i e tコースを調べて製作する
女	3	観光地	どこをどうまわれば金沢を楽しむことができるのか
女	3	学ぶ	大学・短大・専門学校の種類と特徴
女	3	お酒	作り方と利用法
女	3	土地利用	附属小中跡地の利用法とこれからの金沢市の開発
男	4	偉人	医学・化学・文学に貢献した人々
男	4	観光地	特徴・比較・問題点
男	4	野球	金沢の野球は全国的に見て強いのか
男	4	伝統行事	祭の意味
女	4	歴史	明治から現代までの街並みの移り変わり
女	4	ボランティア	ボランティア・コーディネートについて
女	4	和菓子	あんこについて
女	4	農業	農産物の生産量の変化
男	4	スポーツ施設	施設の作りや工夫点など
男	4	音楽	楽器やライブのこと・金沢に関する音楽
男	4	コンビニ	なぜコンビニに人が行くのか
男	4	地震	金沢の抱える弱点, 利点・地震への備え
女	4	観光	それぞれの観光スポットの特徴
女	4	国際交流	姉妹都市イルクーツクについて
女	4	歴史	茶道との結びつき
女	4	高校野球	甲子園での成績・星稜, 金沢高校について
女	4	観光	有名な観光施設の歴史
女	4	特産品	金沢の特産品が抱える問題
女	4	花の販売	花が咲いてから売られるまで
女	4	国際交流	姉妹都市バッファローについて
女	4	和菓子	和菓子の作り方や工夫について
女	4	中学校	環境の違いとそれによる問題

女	5	ボランティア	募金活動とリサイクル
女	5	ボランティア	障害者を支えるための手段としての手話
女	5	郵便局	金沢代表20局とその特徴とデータ
女	5	旧町名	旧町名の由来
女	5	町	昔の名へ戻そう運動
女	5	多い病気	どんな病気にどのくらいの人がかかっているのか
女	5	建物	気候にあった建物作り
女	5	遺跡	金沢の遺跡をいくつか選んでその場所と出土品
女	5	金箔	効果・利用法・製造方法その他
女	5	戦前と戦後	学校の改革でなくなった学校
女	5	景観賞	こまちなみ
男	5	金箔	金箔の製造過程
男	5	歴史	前田利家の一生
男	5	歴史	前田家の強さ（戦いの実績・戦法・金沢城など）
男	5	魚	釣場と釣れる魚
男	5	都市開発	およそ過去20年の都市開発
男	5	坂道	場所とその特徴
男	5	税金	ここ9年間の金額と出来事
男	5	祭	百万石祭の歴史
男	5	偉人	高峰譲吉について
男	5	歴史	金沢市の特産物の移り変わりについて
女	6	飲食店	独特な工夫
女	6	和菓子	入ってきた時代
女	6	バリアフリー	行政の取り組み
女	6	偉人	育った環境と共同研究者
女	6	環境	温暖化
女	6	電話相談	相談する人・される人の気持ち
女	6	和菓子（上生）	季節による色、形の変化・使用する道具など
女	6	福祉	ボランティア活動
女	6	ラジオ放送	放送の製作
女	6	和菓子	茶道との関係
女	6	町並み	日常生活のあらわれ
男	6	用水	辰巳用水について作り方・特徴・辰巳用水以外の用水
男	6	金沢城	その時代背景
男	6	老人と地域のつながり	老人福祉施設のはたらき
男	6	用水	時代とその背景
男	6	中学校	30年前と今の中学校の違い
男	6	偉人	高峰譲吉
男	6	鉄工業	機械と手工業の違い
男	6	商店街	発展と工夫
男	6	商店街	どのような商店街が発展していくのか
男	6	高齢化社会	老人と青年の人口の割合の比較・老人のための施設
男	6	歴史	前田利家と金沢のつながり
男	6	雪	降雪量や除雪の変化
女	7	美術	金沢にある美術館においてある作品とその作者
女	7	漆器	その手法と発展の理由

女	7	スーパー	経営していく中で大切なこと
女	7	特産品	なぜ金沢の特産品として発展したのか
女	7	国際化	国際交流の発展と姉妹都市
女	7	バリアフリー	私達が目指すべき地域作り
女	7	和菓子について	何故おいしいのか
女	7	音楽	金沢からスターになる道
女	7	国際交流	姉妹都市ナンシー
女	7	国際交流	現状とこれからの望ましい交流のあり方
女	7	方言	消えゆく方言・年齢別金沢の方言
男	7	城の歴史	昔の城の大きさ・火事になった原因
男	7	前田家の墓と金沢城	前田家の墓を移した理由・金沢城の火事の原因など
男	7	前田家	金沢で前田家の行ったこと・その様子
男	7	歴史	前田家が金沢に与えた影響
男	7	商店街	堅町商店街の歩み
男	7	偉人	室生犀星はなぜこよなく金沢を愛したか
男	7	歴史	昔の金沢の人々の暮らし
男	7	ゴミ問題	金沢のゴミの産出量の変化と他県との比較
男	7	道路	金沢の道の移り変わり
男	7	歴史	金沢の名所・偉人
男	7	歴史	金沢の由来・江戸～現在の変化
男	7	少年犯罪	件数・それにいたるいきさつ・学校の対応

### 学年発表会



## VI. 柏樹タイムをふりかえって -生徒アンケートより-

平成10年度も、柏樹タイムの活動終了後の9年度と同じアンケートを行い、活動を振り返らせた。9年度と10年度の結果を並べて比較しつつ考察し、まとめとしたい。

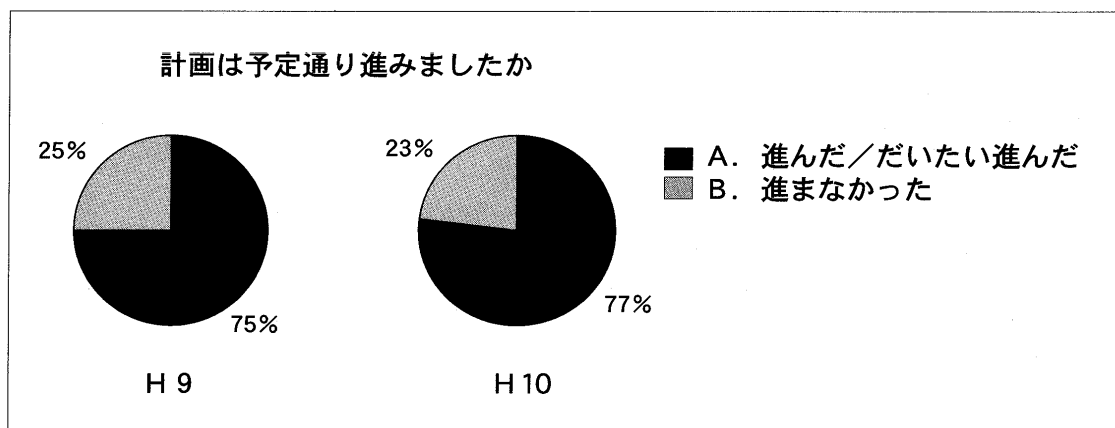
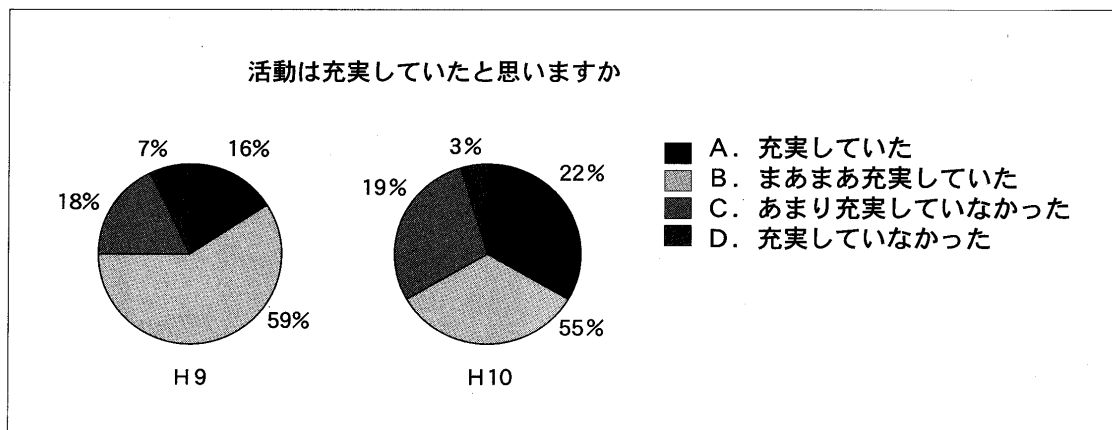
### (1) テーマを決めるとき一番決め手になったものを一つあげなさい。

	9年度	10年度
(1)ガイダンスでの先生の話	7人	7人
(2)先生との相談	7人	7人
(3)友達との話	25人	6人
(4)家族との話	5人	9人
(5)図書館などの資料	9人	8人
(6)新聞の記事	5人	13人
(7)今までの自分の趣味や興味・関心	85人	70人
(8)その他	6人	10人

9年度10年度ともに、自分の趣味や興味・関心からテーマを決めたと考えている生徒が多かった。とはいうものの、これは教師のアドバイスが不要であるということではなく、教師のアドバイスを自分の趣味や興味・関心と結び付けたと考えてよいであろう。

10年度に「新聞の記事」が増えたのは、テーマ決定にいたるまでに、新聞のスクラップをかなり取り入れた効果と考えられる。

### (2) 活動中のことについて





10年度は9年度に比べて、充実度がややアップしている。また、計画性の向上もみられる。9年度の実践からの積み重ねの成果といえるであろう。

9年度よりは少数であるが、これらの設問について否定的な回答をした生徒についてその理由を尋ねたところ、次のような回答が得られた。

まず、活動が充実していなかった、あまり充実していなかった理由として、

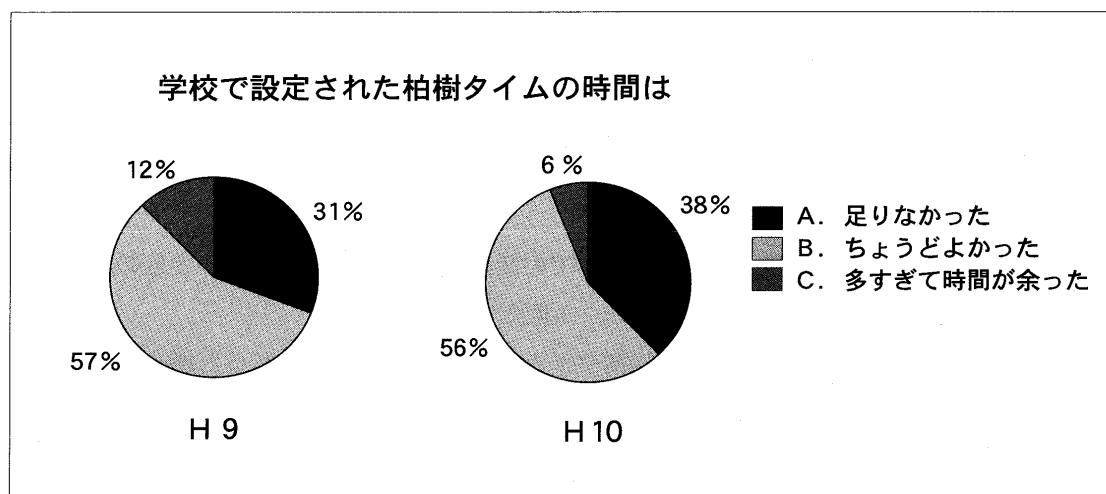
- ・活動計画がうまく立たなかった  
という計画段階でのつまずき、
- ・資料が集まらなかった
- ・何を調べたらよいかわからなくなった  
など、活動途中でのつまずき、
- ・資料を忘れて何もできない日があった
- ・つい、友達としゃべってしまった  
など、態度面でのつまずきがあげられた。

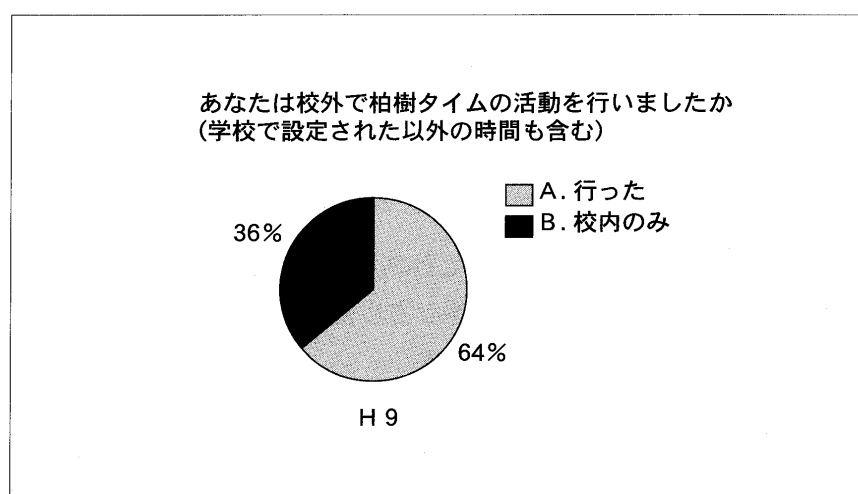
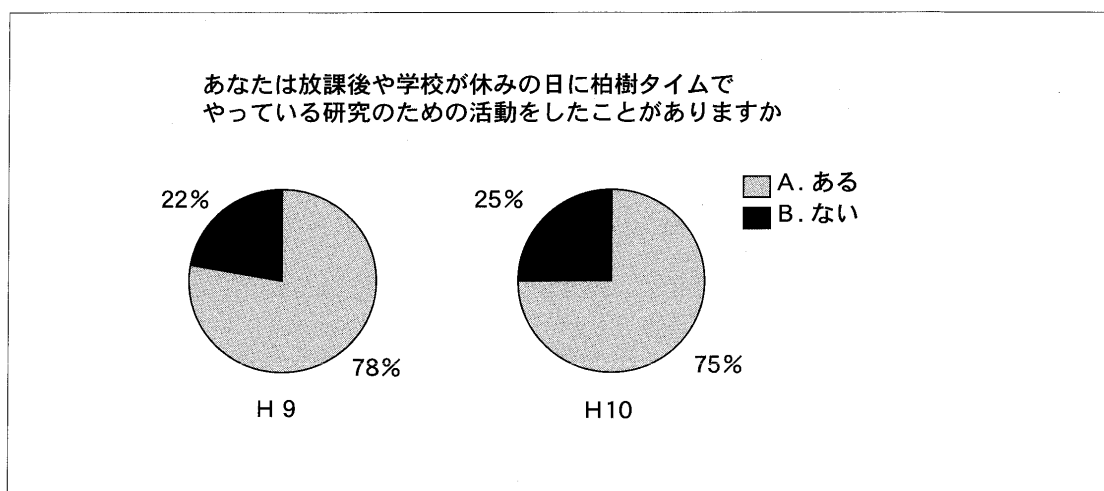
次に、計画が予定通り進まなかった理由としては、

- ・計画性が甘かった
- ・資料が少なかった
- ・あれもこれもと欲張りすぎた  
など、研究の進め方の難しさを痛感したもの、
- ・時間があると思い、ついつい先伸ばしをしてしまった
- ・夏休みに思ったようなことができなかった  
など、時間管理の難しさを実感したものがあつた。

まとまった研究をするのは、ほとんどの生徒たちにとって初めての経験と考えられる。もちろん失敗を経験させることも大切ではあるが、要所要所において適切なアドバイスを与えることの大切さを実感させられた。

### (3) 活動時間と活動場所について





活動時間については、「ちょうどよかった」という意見が6割程度であった。9年度と10年度を比較すると、「足りなかった」が7パーセント増え、「多すぎて時間が余った」が6パーセント減っている。2年目に入り、活動内容もやや充実してきたということであろう。

一方、放課後や休みの日に研究を行った生徒も8割程度いた。

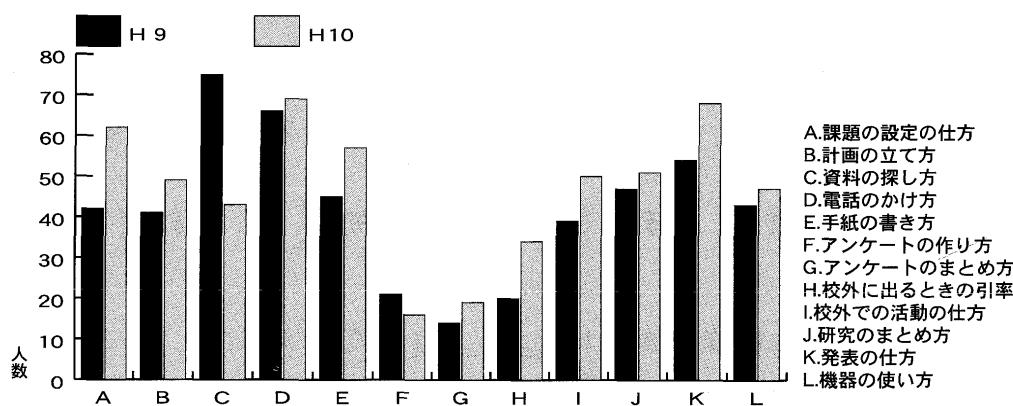
活動時間をどれくらい設定するかは、生徒の活動内容との関連で考えなければならない。活動場所の問題とも関連するが、学校で設定している時間を、調べる時間と考えるか、まとめの時間と考えるかによって、必要な時間は変わってくる。

次に、活動場所についてであるが、9年度は校外での活動を行った生徒が全体の3分の2いた。活動時間内の外出については、時間的な制約などのため、1回だけあった。

活動場所についての意見を求めたところ、柏樹タイムの時間内での活動をもっと増やしてほしいという意見がかなりあった。それを参考に、10年度は全員外出1回を含め、計3回校外での活動の機会を設けた。

#### (4) 先生のかかわり方

柏樹タイムで先生のかかわり方でよかったとおもうものは（いくつでもよい）



教師のかかわり方について意見を聞いたところ、9年度目立ったのは、具体的なアドバイスが欲しいというものだった。計画・資料の探し方・まとめ方・発表の仕方など、すべての面にわたっていた。

教師側としては、できるだけ自分で考えさせることが重要と考えていたわけだが、生徒たちに行ってみれば、不親切と映った面もあったであろう。この生徒のこの段階では、もっとも具体的にアドバイスすべきだったという場合も確かにある。

10年度は班ごとの活動ではなく、全員を収容できる柏樹ホールを活動の拠点とし、担当班という枠を超えたアドバイスも心掛けた。10年度は特に課題設定までの過程でのアドバイスや、発表の仕方等について力を入れたが、よかったという数字が増加している。

#### (5) 活動を終えて

最後に、10年度の生徒たちが、柏樹タイムの活動を通じて学んだことや印象に残ったこととして挙げたことをいくつか紹介して締めくくりたい。

##### ☆「柏樹タイムの活動を通じて、現在役に立っていることや将来役に立つだろうと思うこと」

- ・自分で調べることの大切さ・楽しさ。
- ・新聞の内容理解。
- ・自分が将来入るであろう老人施設について考えられたこと。
- ・人と触れ合う楽しさ。
- ・他人にわかりやすく伝える方法。
- ・訪問のマナー。
- ・電話のかけ方・手紙・レポートの書き方。
- ・継続することの大切さ。

##### ☆「柏樹タイムを通して一番印象に残ったこと」

- ・人々のやさしさ。
- ・すてきな人たちとの出会い。
- ・先生たちが真剣に相談にのってくれたこと。
- ・訪問のときの緊張感。
- ・発表のときの緊張感。
- ・一人で調べ、一人で発表することができたこと。

☆あなたは春休み前に、どのようなテーマで新聞のスクラップをしようと思っていましたか。

〔 金沢の街並・建物(昔・現代) 〕

☆スクラップはどの程度できましたか。(1つ○でかこむ)

- ①ぜんぜんできなかった ②まあまあできた ③よくできた

☆②③を選んだ人は、どんな記事を集めましたか。

- ・ 金沢の街並・道・用水
- ・ 金沢の新しい街
- ・
- ・

☆いよいよ3年の柏樹タイムが始まりますが、あなたはどのようなテーマで研究を進めていこうと思いますか。(1つ○でかこむ)

- ①ぜんぜん決まっていない  
②だいたい決まっているが、まだ迷っている  
③もう決まっている

☆②③を選んだ人は、「金沢の～について」というように、テーマをなるべく具体的に書きなさい。(②の人は、複数書いてもよい。)

金沢の街並(道)について

金沢の昔の建物・現代建築について

「柏樹タイム」テーマ設定に向けて

平成10年4月17日

- 1 いろいろ自分の研究テーマを決定する時期になりました。
- 2 テーマが決まったら、次にそのテーマに関連してどんなことを調べてみようかを考えてみよう。
- 3 次に、実際に調査してみよう。  
自分が欲しい資料を入手する方法の研究を同時に行なうことも必要です。
- 4 実際に調査したことを参考にして、「———に関して———の———を追究する」を決定する。
- 5 研究を開始する。(ここから研究が始まるわけではない。事前の調査でかなりのところまで研究は進んでいるはず)  
研究を進めるときに「一番大切なポイントは———Why?」
- 6 自分の研究の成果をまとめる。

次の【内容例】を参考にして、自分の研究テーマ、及び調査してみたい内容を決めよう

- (1) テーマ 金沢の和菓子について
- (2) 動機 (このテーマを選んだきっかけ)  
以前から、金沢は和菓子がおいしいということをよく耳にしていた。本当においしいのか調べてみたい。  
(3) このテーマで、調べみたいこと  
  - ・いつ頃から作られているか
  - ・金沢市の和菓子の生産(消費)量は多いのか。店の数は多いのか。
  - ・他の都市に比べて本当においしいのか。
  - ・どうして金沢の和菓子はおいしいのか。(材料、作り方など)
  - ・日本に和菓子のおいしい都市は他にどこか。
  - ・和菓子がおいしい所に何か共通点があるのか。

そうすれば、いろいろなことが分かってくると思います。  
 ・最初思っていた程興味が持てない。もうやめようかと思う。  
 ・いろいろな条件で自分ではできない内容である。こんなことは出来るのかどうか先生に相談してみないと分からない。  
 ・どんな方法で進めていったらいいのか分からない。アドバイスが必要である。だれかに相談したい。  
 ・学校以外の場所へ実際にいっていき、調査しないと分からない。  
 ・関連したことで、他のことも調べてみたくなる。  
 ・調査している内に次々と疑問が出てきて、研究が深まっていきそうだ。

柏樹タイム研究テーマ

班 3年 組 (氏名)

(1) 研究テーマ  
金沢の金箔工芸について

(2) 動機  
金沢がほこる伝統工芸だから。

調査内容	考えられる情報入手方法
金箔の製造工程 (フクリガた、使用する道具など)	本、開きに行く 図書館に資料は 有 無
金箔の特徴 (体に良い理由など)	、 図書館に資料は 有 無
金箔の利用方法 (工芸、金糸など)	本、実物を見る 図書館に資料は 有 無
金箔に関する言葉・話 (箔がっく、内職など)	本 図書館に資料は 有 無
金箔で使う紙 (フクリガた、あぶらとり紙など)	本、開きに行く 図書館に資料は 有 無
金箔が金沢な理由 (なぜなのかわ、他の所ではなど)	、 図書館に資料は 有 無

\* テーマに関連して、学校にこんな分野の本があればという希望があれば。

「伝統工芸の本、金箔の本、金箔を使用したもの本、など」

(1) 大テーマ

金沢の 今はない学校(旧制) について

(学制改革)

(2) 具体的な方針

学校の改革でなくなった学校 を調べる

(3) 「大テーマ」を決めた動機 (大テーマを変更した時は、その経緯を)

新聞でGHQに関する記事を読んだ時から、戦争関係のことにしようと思っていたけど、比べてみたいと思ったのでこうなった。

(4) 「具体的な方針」を決定するまでの経過(要約)

いくつも方針の候補はあった。→友達と似ているものは却下。  
← 学制改革に興味持つ。← GHQ関係のものがいい! ←  
戦前・戦後の違いというもとのテーマから  
その改革で廃校されてしまった学校を調べたいと思った。

(5) 経過(具体的に) この用紙の下にある記入例を参考にして

- ・調査内容
  - ・その具体的な項目
  - ・わかったこと、および収集した資料・情報も添付する
  - ・主な資料・情報の収集先
- (具体的に。書籍の場合はその書籍名及び入手先も)

についてまとめる。(別紙に記入)

1 和菓子ができたのはいつころか

①和菓子の種類

ア わかったこと(資料も添付する)

イ 主な情報収集先

②年代の変化と和菓子の変化

ア わかったこと(資料も添付する)

イ 主な情報収集先

2 和菓子はどのように作られるか

①原料の産地

ア わかったこと(資料も添付する)

イ 主な情報収集先

②機械が作るのか人間が手で作るのか

ア わかったこと(資料も添付する)

イ 主な情報収集先

③一番難しいことは

:

:

:

# 金沢の戦後なくなった学校 (学制改革でなくなったもの)

なくなった学校もたくさんあるだろうと思うから

その中でも代表的なものを少し選ぼうと思っています。

## 調査すること

### ① あった場所

昔の地図を活用する ← 図書館などで見つける。

その他 いただけるかも 知れない。

### ② その学校の歴史、特にめだつこと(?)

一番  
念を入れよう!

- いつ 創立されたか。
- いつ 廃校になったのか。
- 生徒のたいたいの人数。 (その他 興味あること)

### ③ (金沢には関係ないけど)

なぜ 学制改革したのか。

## 資料入手先

• 大野さんの祖母。

• 本 (学校に関してのことが書いてある本)

旧四高について少しのっているのなら 図書館のもので見つけ済

• 市役所 ← それを調べられる課があるかどうか分からないです。電話帳で調べてみればいいか...  
と思う。

? 広坂とか近いところにあつたら 行ってみよう!  
いいかもしれない。

### • 調べる学校

#### ① 旧四高

Q. 同窓会グループはあるのか?

A. あり!! ← 反論  
させてあげよう

#### ② 旧県立第一高女

済美会 (同窓会)

長土堀 1-2-9 ← letter

231-5460

出すぞ!

→ その他 調べたいことがあつたら

# (校外での活動の日用)

3年 柏樹タイム 現地訪問希望調査用紙

H. 10. 6. 11

班 ( 先生 ) 組 番

☆この後、柏樹タイムの時間に校外へ出てよい日を設けたいと思いますが、あなたはどこかへの訪問を希望しますか。

する

しない

(どちらかに○)

☆「する」を選んだ人は、以下の項目に具体的に答えなさい。

① 訪問希望先 (市役所などはなるべく〇〇課まで)

FM石川

(代)262-8050

② 所在地 (住所等)

金沢市彦三町2-1-45 (FAX)262-8058

七行き方がわからないので前日までにしらべておく。

③ 訪問の目的

ラジオを作っている現場を見せてもらう。どんな人がどのような物を使ってはたかみをつくっているのかをくわしく見ると、その局に7 (12 (おかし)) くらいおいてもらいたいの

④ 尋ねる相手 (③が誰かに何かを尋ねるとした場合)

いつかの人? ディレクターさん? (わからない)

その他の人? かな

⑤ 尋ねる内容

① この局にしかない個性 (この局のびまん) ② 今どんな番組に力を入れているのか又は入れたいのか。③ 番組はどのようにできているのか (スタジオ)

にはどんな物があるか。どんな人達が使っている番組を作っているのか。 (いった時にしていた)

④ この局の歴史として、しつりつ TOP10 をおいてもらう。⑤ あと、カメラが使えたら (スタジオ内) として、このきかいはどのようにかうなどをしらべておきたい。



3 年 柏 樹 タ イ ム H10. 6. 9  
1 学 期 の ま と め と 今 後 の 活 動 予 定

組 番 班 名 前  
課題：金沢の戦後 について 旧制学校の歴史 を調べる

1. 研究の進行状況 (6月9日現在)

第四高等学校について 同窓会グループ... 北辰会

- 歴史 (だいたいの流れ) は分かった。  
その他 その卒業生 (有名人)。校長 14人
- 校舎の様子 (写真、葉書有)
- 四高での大事件  
ex. ボート部 琵琶湖で"遭難"、11人死す。

南下軍 その他いろいろ

県立第一高等女学校について  
同窓会グループ... 済美会

- 歴史、だいたいの流れは OK です。
- 友達の祖母からかしてもらった会報の XE、コピーもあり。
- 昔の女学校がおもしろそうなこと!

これだけ資料は完璧なはずなんです! たぶん...?

2. 今後の活動予定 (夏休みも含む)

\* 夏休みの予定 (なるべく具体的に)

- ① もう一度近代文学館に行き、四高について1回目の訪問で分からなかったことも調べたい。
- ② 第一高女は今あるのか? あれば"写真を撮りたい" (建物)  
※ ① について  
四高記念コーナーに北辰会の発行している会報があったのでぜひ見たいと思います。  
こないだは見るのができなかった...。
- ③ 学校は奥が深いので"もっとおもしろそうなことがあるかも知れない。" ← あたら資料集めたいです。

3. 2 学期の柏樹タイム

9月 5日 (土)	1・2限	
9月 10日 (木)	5・6限	課題追究
9月 19日 (土)	1・2限	
9月 24日 (木)	5・6限	
10月 3日 (土)	1・2限	まとめ
10月 8日 (木)	5・6限	
10月 17日 (土)	1・2限	
10月 20日 (火)	? 6限	
10月 27日 (火)	? 6限	
11月 5日 (木)	・6日 (金)	文化祭 レポート・資料展示

文化祭以降 学年発表会

\* 柏樹タイム用の図書貸出しを希望する人は、担当の先生に申し出て下さい。  
あなたの予定



3年柏樹タイム

7月7日校外活動予定表

組 番 班 ( 先生) 名前

時 間	場 所	活 動 内 容
10:30	能楽堂	
	↓	徒歩
11:00	中央公園	昼食 (雨天の場合は教育会館ホール)
11:30	"	昼休みのある職場への訪問は食事の前に すること。
	↓	徒歩
12:00	片町交差点 (275→14)	交通量調査
	}	
13:30	終了	
	↓	徒歩
13:45	玉川図書館	資料探し (低公害車に711?)
	}	
14:30	終了	
	↓	バス (南町から)
14:30		
~	学校	着いた人は柏樹ホールに入り、資料の整理 などをして待っている。
15:15		

\*移動の方法を必ず記入すること。

3年組 班 ( \_\_\_\_\_ )

☆あなたの夏休み中の研究の様子について教えてください。(どれかに○)

②(2.5) ちびっとした

・研究は ①かなりした ②まあまあした ③全然しなかった

①②を選んだ人は具体的な内容を、③の人はその理由を書いてください。

資料の整理  
図書館で資料探した(ごき1回読んだことあるやつとか役に立たないのは"かりた"った)

☆あなたの現在の研究の進み具合は全体の何パーセントぐらいですか。

(レポート製作は除く)

① 50%未満

② 50%

③ 50%超える

( %くらい)

( %くらい)

☆今後の活動のことについて教えてください。

・柏樹タイムの時間にもう一度外出を希望しますか。 ①する

②しない

訪問先 ( \_\_\_\_\_ )

・柏樹タイムの時間にインターネットの使用を希望しますか。 ①する

②しない

・学校で購入してほしい図書がありますか。

①ある

②ない

書名

(今はわからないので) 今度調べます。

・この後の研究レポート作成について、不明な点があったら書いてください。

レポートをそのまま展示するんですか?  
あと、発表のときのために、たにかもどろ紙とかにまて めたし  
いけないうんですか。

# 口頭発表について

発表前の注意

組番( )

- 1) 未熟であっても、必ず自分の感じ、考えを話の中に織り込む。
- 2) 話の中に挙げるべき項目を考える。
- 3) 理解の及ばないことについては、参考書などで調べるが、そこに出ている説、をそのまま紹介するのではなく、自分なりに吟味して、自説を成り立たせる一つの材料として利用するようにしたい。それぞれの説に対する自分の考えを付け加えられればなおよい。
- 4) 発表時間を考え（話し言葉の場合1分間250字～300字見当）、話の組み立てを工夫する。（班別発表は1人5分程度）
  - (1) 効果的な組み立てを考え、話の順序を決める。
  - (2) 聞き手がよく知っている事例を結びつけたりしながら、できるだけ具体的に述べる。
- ④ 図表・写真・スライド・模型・実物・カセット・ビデオなどの視聴覚器材を活用する。
- ⑤ 発表メモを作る（話す通りの原稿は、それに頼りすぎたり、読むようになりがちなので、話の骨組みを記したメモを勧める）。

## B. 発表する時の注意

- 1) 準備不足などの言い訳をしない。
- 2) よくこなれた自分の言葉で話す。
- 3) 要点を繰り返し、個々の事柄を理解してもらう。
- 4) 声量・発音・声の強弱・速さ・間のとり方をよく考え、聞き手を見ながら話す。
- 5) 音声だけではなく、話す態度、表情や身振りにも十分に注意を払う。
- 6) 聞き手の反応を見、また残り時間を考えて話し方を調節する。

## 今後の日程

11月16日(月) 6限 発表準備  
 21日(土) 3限 班別発表①  
 26日(木) 6限 " ②  
 30日(月) 6限 " ③



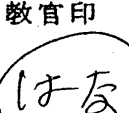

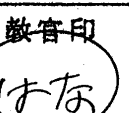
12月11日(金) 5・6限

学年発表会(各班代表)

他学年の先生方の参観あり。  
 家庭へも案内を出す予定。

柏樹タイム活動の記録

5 班 組 番

<p>6 月 18 日 (木)</p>	<p>活動内容 (したこと・わかったこと・使用した資料など) 7/7の活動の紙の記入 (3の前) 市役所をきこくと探す。 こまちなみの各場所を言围める。 市役所から1270本。</p>	<p>自己評価 A B C</p>
	<p>反省点・次回の課題など 25日は、レポート用紙にまとめることをしようかな? あと塩津さんとうちあわせ。</p>	<p>教官印 </p>
<p>6 月 25 日 (木)</p>	<p>活動内容 電話をかけました。7/7 AM 11:30 さいはよくわかんなくて困った。</p>	<p>自己評価 A B C</p>
	<p>反省点・次回の課題など 取本内容をしっかり夏の中に入れておこうと 思いまあ。あとカメラも忘れず。</p>	<p>教官印 </p>
<p>7 月 27 日 (火)</p>	<p>活動内容 市役所と塩谷さんに質問・資料をいたした。 ↓ 中央公園で昼食 ↓ 塩津さんと里見町・水尾町に行き写真撮影。</p>	<p>自己評価 A B C</p>
	<p>反省点・次回の課題など 思ったより早く学校に戻ってしまいました。すく暑い日ですと あつと歩いていたので体がふらふらになっちゃいました。</p>	<p>教官印 </p>
<p>7 月 9 日 (木)</p>	<p>活動内容 1学期のまとめ と おねい状を書きました。</p>	<p>自己評価 A B C</p>
	<p>反省点・次回の課題など 夏休みはカメラをもって歩きまわろゾー!!!</p>	<p>教官印 </p>
<p>9 月 5 日 (土)</p>	<p>活動内容 アンケートをとることにしました。 アンケートの作成は、なかなか大変です。 一応下書完成です。あとは市役所に電話。</p>	<p>自己評価 A B C</p>
	<p>反省点・次回の課題など &lt;夏休みのこと&gt; やはり金沢にでてるのが面倒で、カメラを もって歩きまわりませんでした。</p>	<p>教官印 </p>



組 番 氏 名 \_\_\_\_\_ 担当 \_\_\_\_\_ 先生 \_\_\_\_\_

【研究テーマ】	～
～ 金沢の観光地	
【研究の動機(テーマ設定の理由)】	
金沢のラジオ番組で「大津市から来た人が、 「金沢っていいところだねー。」というのをよく聞いたので どこがいいのか調べてみようと思った。	
【研究の方法】	
実際に観光地へ行く。市役所の観光課へ行って お話をうかがう。景観の人金沢のどんなところがいいかきく。 ガイドブックを読む。	
研 究 内 容 の 概 略	
金沢のみどころ	
金沢の観光地。いろいろな観光地に行ってみて、自分が気に入ったところ、行ってみたいところ、人気があるところ、をまとめた。 (行く順番)	
馬 → 尾山神社 → 武家屋敷 → 兼六園 → 忍荷寺 → W坂 → 新野町・聖町商店街 → 深谷温泉 → 東茶屋街 → 伝統工芸体験	と、おまけ
金沢のたばこ	
金沢でおいしいレストランとかを地図に示す。ガイドブック	

みたいに。独断おすめも指々つき。(5つ星で満点) (ヤレたお店) ... グルメディア金沢参考 源平、山さん、地之目寿司本店、きんどん、この花寿司、かえり カンパニ、石亭、もろみ蔵、伊予田屋	
金沢の体験館とニコ	
近年、伝統工芸の見学ではなく、自分で体験したい、という人がふえている。と市役所で行った体験入りのため、実際に金箔ばりの体験をしたらすごいだったの、で、ぜひ金沢に来た人にもしてもらいたいの、で、思いついて、伝統工芸を体験できるお店(少ない)を書いた。(体験できるお店) ... 伝統工芸体験館(参考)	
今井金箔ショールーム(金箔ばり)、能作(詩系会)、陶房長寿(九谷焼)、加賀友禅 伝統産業会館(加賀友禅)	
金沢のみやげもの	
金沢のおすめのおみやげ20選。食べものが6割。あんこもち、あぶらとりがみ、四万屋本舗、かぶら寿司 など	
感 想 及 び 反 省	参 考 文 献 及 び 資 料
金沢の観光地というテーマでは、しぼくせんとしていたのと、観光地の中で古い建物にだけスポットをあてて、そこについて詳しく調べると、いろいろな方法を調べた。その中で、表裏的にならば、かなり面白い。たのび「なぜその場所が人気なのか」という「なぜ?」がなかった。	金沢市役所・観光課青山さん 葉見・姉妹・いとこ (川情報提供)
	金沢市観光調査結果報告書 City Guide 金沢、金沢、 クリエイティブ金沢、伝統工芸めぐり、 金沢城下町見歩き地図、 武家屋敷見学、金沢・長町武家屋敷、 足軽資料館、金沢城下町見歩きコース 能作パンスト、兼六園パンスト